

「神之嶺小学校の井之川夏目踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	徳之島町立神之嶺小学校
2. 学年・人数	全児童 53人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時 令和7年4月～令和8年2月 神之嶺小学校 多目的スペース・体育館 (2) 発表の日時・場所 令和7年9月28日（日） 神之嶺小学校 校庭（保・小・中合同大運動会内にて）
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 県指定民俗文化財（無形民俗）井之川夏目踊り（いのかわなつめおどり） (2) 由来 琉球服属時代（約500年前）には伝わっていたといわれているが詳細は不明。旧暦七月に、人々が先祖に対し収穫感謝し、集落の平安、家々の安泰のお祝いをするためのもの。 (3) 構成等 チヂン（太鼓）の打ち手3人～4人とそれを取り囲むように男性が円陣を作り、さらに女性が外回りに円陣を作り、「あつたら七月」等を歌いながら踊る構成。踊りは、「押す、拝む、こねる」の三基本型の変化形。歌は、全13種類あり、歌によって踊り方も違う。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	練習や発表を教育課程に位置付け、郷土を愛する態度の育成につなげている。また、平成14年度より文化財少年団を結成し、地域と学校が一体となって継承活動を行っている。学校においては、歌詞が掲載された大型アクリル板を掲示し、いつでも歌詞を覚えられるようにしている。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>全児童による踊り練習</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>合同大運動会</p> </div> </div>
7. 感想・意見 (参加児童生徒・保護者・保存会・教員等)	<p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏目踊りの歌は島口で少し難しいけど、歌いながら踊るのがとても楽しい。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の授業の中で練習できるのはとてもいいことだと思う。 <p>【保存会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 島口の歌詞なので覚えるのがむずかしいと思うが、繰り返し歌うことで、自然と覚えていく。まずは、歌や踊りを楽しんでほしい。また、学校が伝統継承に協力的なのが大変うれしい。今後もいくらでも協力していくので、この活動がなくならないようにしてほしい。